

登米市迫町の伊藤正子の語り [3]

語り手 伊藤正子

聞き手 小野和子・みやぎ民話の会

撮影 酒井耕・濱口竜介

日時 2012年5月30日

場所 宮城県登米市迫町



制作 みやぎ民話の会「民話声の図書館」プロジェクトチーム・せんだいメディアテーク

事業年度 2014年度
発行年度 2014年度
資料番号 10001328

民話声の図書館

登米市迫町の伊藤正子の語り [3]

みやぎ民話の会「民話声の図書館」プロジェクトチーム・せんだいメディアテーク

解説 この映像は、宮城県を中心とする伝承の語り手による民話の音声・映像記録をデジタル化した、地域の共有財産として公開・活用していく事を目的として実施した事業の中で、宮城県登米市迫町の伊藤正子さんの語りを小野和子聞き手としてまとめたものです。



伊藤 正子 (いとうまさこ)

大正十五年（一九二六）宮城県登米市迫町新田に生まれる。母から多くの民話を聞いて成長する。祖母、母、そして、正子さんへと「母の昔話」は語り継がれた。正子さんがわが子のために書き綴った民話が公民館の広報に載り、冊子として刊行される。よくひびく声で語られる民話は聞く者を魅了する。小中学校・施設などでいまでも語り続けている。

キーワード

- ・伝承の民話
- ・語り聞く
- ・土着の魂/旅人の眼
- ・記録映像

- ① 海の果て (9分) 【第一章12 P.33】
- ② ヘビとメメズ (6分) 【第一章11 P.32】
- ③ ハトとサギとアリ (5分) 【第一章2 P.4】
- ④ アリとハチとクモのお伊勢参り (4分) 【第一章1 P.2】
- ⑤ ヒバリとネズミ (3分) 【第一章10 P.30】
- ⑥ 草履を借りたウズラ (7分) 【第一章9 P.27】
- ⑦ サルの生き肝 (9分) 【第一章7 P.22】
- ⑧ マタタビ (3分) 【第九章9 P.389】
- ⑨ 忘れ薬 (3分) 【第九章5 P.381】
- ⑩ 化けネコとしっちえカボチャ (6分) 【第二章7 P.60】
- ⑪ ばばあに化けたヒビ (10分) 【第二章9 P.64】
- ⑫ キツネの見込み違い (5分) 【第二章12 P.72】
- ⑬ かみそりギツネ (5分) 【第二章10 P.68】
- ⑭ にせ本尊 (7分) 【第二章11 P.70】
- ⑮ 命取られた古ダヌキ (8分) 【第二章14 P.78】
- ⑯ 古寺の化け物退治 (7分) 【第七章4 P.271】
- ⑰ (再) 古寺の化け物退治 (29分) 【第七章4 P.271】
- ⑱ さいしんへら (12分) 【第七章9 P.287】
- ⑲ 瘤一つあん (16分) 【第七章13 P.311】
- ⑳ 皆殺しと半殺しと取って投げ (5分) 【第七章3 P.268】
- ㉑ 間拔けな泥棒 (3分) 【第三章11 P.128】
- ㉒ だんだっ屁 (3分) 【第五章11 P.234】
- ㉓ とごろふう (24分) 【第五章1 P.196】

※ [] は、『みやぎ民話の会叢書 第九集「母の昔話」を語りつぐ一登米郡迫町新田の民話一』の掲載ページ数です。

※この映像は、映画『うたうひと』（山形国際ドキュメンタリー映画祭 2013 スカーパー！IDEHA 賞受賞）の制作過程で記録されたものです。

館内視聴(smt) ○ 館外貸出(smt) ○ 団体貸出 ○ | 191分 | カラー | 16:9 | ステレオ | 日本語 | 片面一層 MPEG-2 |

【おことわり】

- ・私的鑑賞の目的以外に、無断で複製、改編、公衆送信(放送、有線放送、インターネットなど)、上映、頒布(販売、貸与など)、翻訳、翻案などに使用することはご遠慮ください。
- ・学校教育または社会教育など、公益目的での利用を希望される場合は、視聴覚教材ライブラリーをご利用ください。
- ・収録された作品等の著作権はそれぞれの権利者に帰属しています。二次利用等についてのご相談は、せんだいメディアテークまでお問い合わせください。
- ・内容に一部不適切な表現がふくまれる場合がありますが、記録保存の観点からそのまま収録しています。あらかじめご了承ください。



【発行】せんだいメディアテーク 電話：022-713-4483 / ファクス：022-713-4482
E-mail: office@smt.city.sendai.jp Website: http://www.smt.jp

